

小中一貫教育推進室だより

平成 26 年 12 月 11 日

目 次

- | | |
|--------------------------|----|
| 1 小中一貫教育フォーラムへ約 1300 人参加 | P1 |
| 2 小中一貫教育フォーラムにおける講師紹介 | P1 |
| 3 「授業改善の視点」を明確化した取組 | P2 |
| 4 ブロック校長会における説明 | P3 |
| 5 小中一貫教育推進に係る学校支援訪問 | P3 |
| 6 「家庭教育学級」で小中一貫教育を紹介 | P4 |
| 7 主な予定 | P4 |



**那覇市小中一貫教育
フォーラムが開催されます。**



昨年度のモデル校研究発表会の様子
H26. 2. 12（水） 教育長挨拶



講 師： 西川信廣先生
H26. 2. 12（水）昨年度講演会の様子

1 小中一貫教育フォーラムへ約 1300 人参加

平成 26 年 12 月 26 日（金）、那覇市民会館において那覇市小中一貫教育フォーラムが開催されます。12 月 11 日現在、参加申し込み者数が約 1300 名となりました。各校からの参加申し込み、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

当日は、大変混み合うことが予想されます。早めのご来場、ご協力をお願いいたします。また、駐車場は来賓車両の使用となりますので、公共交通機関等をご利用いただきご参加をお願いいたします。プログラム概要は下記のとおりです。



昨年度のモデル校研究発表会の様子
H26. 2. 12（水）於：ているる

小中一貫教育フォーラム プログラム概要

開場 12:20

開演 13:00

- | | |
|---------------------|-------|
| 1 はじめのこたば | 13:00 |
| 2 教育長挨拶 | 13:05 |
| 3 那覇市小中一貫教育の取組説明 | 13:10 |
| 4 実践事例報告（フォーラム形式） | 13:25 |
| 神原中、金城中、小禄中、鏡原中グループ | |
| 5 休 憩 | 14:25 |
| 6 講 演 | 14:45 |
| 講師紹介(5) 講 演(90) | |
| 7 お礼のこたば | 16:20 |
| 8 おわりのこたば | 16:25 |

2 小中一貫教育フォーラムにおける講師紹介

那覇市小中一貫教育フォーラムの講師の先生をご紹介します。講師は、昨年度もご講演をいただいた京都産業大学・文化学部教授・教職課程教育センター長の西川信廣先生です。先生は、現在、中央教育審議会「小中一貫教育の制度化等に関する特別部会委員」を務めております。

講演の演題は、「**学校と教師を変える小中一貫教育**」で、小中一貫教育に係る「全国的な優れた実践」、「国の動向」等について、具体的に新しい情報を提供していただけるものと考えております。

〈講師プロフィール〉

西川信廣先生 京都産業大学・文化学部教授・教職課程教育センター長

1982 年大阪大学大学院人間科学研究科博士課程修了（教育制度学専攻）

＊ 主な研究領域

- ・イギリスの教師教育研究・学級経営の質的向上に関する研究
- ・小中一貫教育に関する研究・コミュニティ・スクールに関する研究

＊ 社会における主な活動

- ・中央教育審議会「小中一貫教育特別部会委員」（平成 26 年 8 月～）
- ・京都市学校運営協議会及び学校評価に関する検証委員会委員（平成 26 年 9 月～）
- ・文科省「コミュニティ・スクールの推進に関する調査研究協力者会議」委員（平成 26 年 5 月～）
- ・大阪府教育行政評価審議会会長（平成 26 年 6 月～）
- ・中央教育審議会初等中等教育部会専門委員（平成 20 年 7 月～24 年 6 月）
- ・豊中市学校教育審議会会長（平成 20 年 8 月～平成 25 年 8 月）
- ・京都市立東山開晴館小中学校学校運営協議会理事（平成 24 年 1 月～）
- ・寝屋川市小中一貫教育推進協議会委員（平成 17 年 4 月～）

＊ 主な著書

- ・「教育のパラダイム転換」1997 年福村出版
- ・「学校再生への挑戦」2000 年福村出版
- ・「習熟度別指導・小中一貫教育の理念と実践」2006 年 3 月出版 ナカニシヤ出版
- ・「小中一貫教育の理論と方法」2011 年 8 月出版 ナカニシヤ出版など



鏡原中学校小中一貫教育グループの 先進的な取組



小中合同授業研究会の様子 ①
1 2. 3 (水) 垣花小1学年 道徳



小中合同授業研究会の様子 ②
1 2. 3 (水) 垣花小6学年 社会



公開授業後のワークショップの様子
4 学年 国語部会



各部会から集まったワークショップ資料
(各部会の協議内容を「全体会」で報告)



「授業改善の方向性」を報告する
ファシリテーターの照屋枝梨子教諭

3 「授業改善の視点」を明確化した取組

鏡原中学校小中一貫教育グループ（鏡原中、小禄南小、垣花小）では、児童生徒の「思考力・判断力・表現力」を育てる取組を実践してきました。小中一貫した鏡原中グループの授業改善の取組をご紹介します。

学習部会テーマ「思考力・判断力・表現力を育てる『かく活動』の充実」 ～ノート指導の工夫を通して～



5月1日(木)、「ノート指導の工夫」について、講師（松島中教頭：上江洲朝男先生）を招聘し、下記のような理論研究会を持ちました。

〈「ノート指導」の視点〉

- 1 児童・生徒に「書く」目的を分からせる。
- 2 発達段階に応じた指導内容の把握をする。
- 3 具体的な手だてをもつ（よいノート）
- 4 単元の流れの中で「ノート内容」の位置づけを意識する。
- 5 小1～中3までの継続を意識する。



計
画

その後、7月15日(火)、鏡原中学校、11月26日(水)、小禄南小学校において公開授業を実施し「思考力・判断力・表現力を育てる『かく活動』の充実」について小中合同の「授業研究会」を行いました。

〈授業研究会の視点〉

- 1 学習規律の様子
- 2 授業の様子
 - ①めあての明確化
 - ②考えを記述する
 - ③学習のまとめ



12月1日(月)、垣花小では、最後の授業研究会を充実したものとするため、講師を招聘し研究会運営に係る「事前研修」を行いました。

〈池間生子小中一貫教育アドバイザーからの助言骨子〉

- 1 これまでの授業研究会を振り返って
- 2 ワークショップ型授業研究会の確認事項
- 3 授業研究会の流れの基本的なモデル
- 4 授業研究会の具体的な流れ



12月3日(水)の垣花小の最後の公開授業では、「事前研修」をふまえ、「授業参観の視点」を下記のように改善し、公開授業を実施しました。

- 1 課題・めあてが適切であったか。
- 2 児童生徒が自分の考えや意見を持つための手だての工夫が適切であったか。
- 3 「書く」時間が確保されていたか。
- 4 まとめ、ふり返りで今日の学びの確認がなされていたか。
- 5 学習の規律が徹底されていたか。

- | | | |
|----------|---------------------------|---------|
| ①1年1組 道徳 | 主題名「わがままをしない」 | 伊良部峯教諭 |
| ②1年2組 道徳 | 主題名「やさしく思いやりのきもちで」 | 佐久田辰枝教諭 |
| ③2年1組 算数 | 「三角形と四角形」 | 翁長 未織教諭 |
| ④3年1組 算数 | 「分 数」 | 又吉 陽子教諭 |
| ⑤4年1組 国語 | 「ごん日記を書いて」読みを深めよう | 神谷 淳子教諭 |
| ⑥5年1組 特活 | 「学級スポーツ集会の計画を立てよう」 | 伊禮 義明教諭 |
| ⑦6年1組 英語 | 「What time do you get up」 | 新城 淳教諭 |
| ⑧6年2組 社会 | 「2つの戦争と日本・アジア」 | 永山 卓弥教諭 |

公開授業後の「各部会」では、小・中学校の教師が「授業改善の視点」に基づいた協議を行いました。主な意見、助言等を下記に紹介します。

- 1 価値の自覚を深める「書く活動」を取り入れたい。(道徳)
- 2 「話す活動」を取り入れて、「考えを深める」工夫をしたい。(道徳)
- 3 低学年の子ども達は「キーワード」、中学年は「文字と線分図等の組み合わせ」、高学年は「中学校を意識した書く活動」を取り入れたい(算数)
- 4 「書く活動」を意図的に取り入れることが子どもの思考力を高める。(国語)
- 5 「板書」を書き写すだけでは「思考の深まり」とはならない。意図的に自分の考えを書かせることが必要である。(国語)
- 6 「書くことの価値」を高める指導を行いたい。(特活)
- 7 記載については「自由度」を持たせたと意図的に書くようになる。(特活)
- 8 「比較して書かせる」等、視点や意図を与えることが大切である。(社会)
- 9 「手を挙げていない子どもも思考をしている子がいる」ことを確認したい(英語)
- 10 手を挙げていない子の力は「ふり返りカード」で評価をしてあげる(英語)

「全体会」では、ファシリテーターの照屋枝梨子教諭が「各部会報告」をもとに今後の「授業改善の方向性」を丁寧に整理し、会を締めくくりました。

授
業
改
善
の
方
向
性

4 ブロック校長会における説明

平成26年12月9日（火）、本庁ブロック校長会が開催されました。その中で小中一貫教育推進室から下記の「説明」を行い、後半は「各グループ別協議」を行いました。

- 1 はじめのことば・・・・・・・・・・・・・指導主事 稲福政彦
- 2 説明
 - (1) 小中一貫教育推進に係る学校支援訪問を終えて 室長 松田哲哉
 - (2) 保護者・地域説明会の日程等について 指導主事 稲福政彦
 - (3) 小中一貫教育コーディネーターについて 指導主事 稲福政彦
- 3 協議
 - (1) 各小中一貫教育グループ保護者・地域説明会の日程調整
 - (2) 保護者・地域説明会の役割分担
 - (3) 当日の説明内容についての調整
- 4 質疑応答
- 5 おわりのことば・・・・・・・・・・・・・指導主事 稲福政彦



「小中一貫教育推進に係る学校支援訪問を終えて」の説明では、11月6日（木）～12月1日（月）の学校訪問を通して感じた「各小中一貫教育グループの取組の良さ」「課題と今後の対応策」の概要について説明を行いました。

「保護者・地域説明会の日程等について」の説明では、真和志南ブロック、本庁ブロック保護者・地域説明会の「日程確認」「役割分担」等について説明を行いました。

後半の「協議」では、これまで調整してきた各小中一貫教育グループの「目標」「部会」「部会の具体的取組」等の最終確認を行いました。

このグループ協議では、池間生子小中一貫教育アドバイザー及び指導主事が各グループの中に入り、質疑等を受けながら協議を進めました。

平成26年12月16日（火）には、真和志南ブロック校長会においても同様の協議を予定しており、平成27年度小中一貫教育本格導入に向けた準備が進められています。



本庁ブロック校長会の様子①（推進室説明）
H26.12.9 於：市役所



本庁ブロック校長会の様子②（各グループ協議）
H26.12.9 於：市役所



池間生子アドバイザーを交えての協議
H26.12.9 於：市役所



小中一貫教育推進に係る学校支援訪問の様子①
H26.11.14 於：上山中学校



小中一貫教育推進に係る学校支援訪問の様子②
H26.12.1 於：仲井真小学校

5 小中一貫教育推進に係る学校支援訪問

平成26年11月6日（木）～12月1日（月）の期間、「小中一貫教育推進室が学校を訪問し、学校長等と小中一貫教育の取組状況を話し合い、今後の小中一貫教育充実に向けた支援に資する」趣旨で、「小中一貫教育推進に係る学校訪問」を実施いたしました。

関係学校の校長先生、教頭先生には、お忙しい中、ご対応をいただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

この訪問は、下記のような流れで意見交換を行いました。各学校とも、約50分程度の時間設定でしたが、次年度に活かせる有意義な情報交換となりました。

- 1 はじめのことば・・・・・・・・・・・・・指導主事 稲福政彦
- 2 趣旨説明・・・・・・・・・・・・・室長 松田哲哉
- 3 取組状況確認（第4回校長連絡協議会の「グループ協議記録」を活用）



本格実施校の協議内容（13校）

神原中グループ、小禄ブロック

- (1) 本格実施1年目の中間評価
- (2) 今年度後半の取組の重点
- (3) 次年度構想の基本的視点

準備校の協議内容（19校）

真和志南ブロック、本庁ブロック

- (1) 今年度の取組
- (2) 次年度教育計画への反映
- (3) 小中の共通理解の工夫

4 情報交換

(1) 今後の小中一貫教育推進と支援策

- ① 特色ある取組と支援について ② 小中合同研修会への小中一貫教育アドバイザー活用
- ③ 小中学校の教育課程の系統性確保に向けて（資料提供）

(2) 小中一貫教育フォーラムの協力依頼

(3) 次年度教育計画作成に向けて

5 おわりのことば・・・・・・・・・・・・・指導主事 稲福政彦

この学校支援訪問全体を通して、各グループの「取組の良さ」等を下記のようにまとめました。詳細につきましては、各ブロック校長会等でご説明をしていきたいと考えております。

〈各小中一貫教育グループの取組の良さ〉

- ① 「小中合同授業研究会」が充実している ② 小・中の「共通実践」が明確化されている。
- ③ 次年度教育計画に「小中一貫教育に係る項目」の設定が予定されている。

〈課題と今後の対応策〉

- ① 年度途中における評価と改善（計画の修正） ② 定期的な校長・教頭会、各部会の実施
- ③ 「授業改善」の視点の明確化 ④ 「決定事項」に係る連絡体制等の確認



6 「家庭教育学級」で小中一貫教育を紹介 (那覇市中央公民館講座)

平成 26 年 12 月 2 日(火)、那覇市中央公民館家庭教育学級(全 5 回)が那覇市中央公民館で開催されました。「家庭教育の心得 ～思春期の子どもを愛するということ～」のテーマで以下の講座が行われています。

- 11月18日(火) (開級式) 家庭での子どもへの向き合い方
稲田 政久先生(沖縄国際大学キャンパス相談室・臨床心理士)
- 11月25日(火) 子どもの心への寄り添い方 ～家族の在り方を考える～
糸数 貴子 先生(We ぷらんにくぐ代表)
当山 浩子 先生(那覇市こどもみらい課子育て応援室 室長)
- 12月2日(火) 児童生徒の学びに対してへの親の関わり方
池間 生子 教授(沖縄大学人文学部こども文化学科)
- 12月 9日(火) 思春期の発達心理とは
浦崎 武 教授(琉球大学発達支援教育実践センター・発達臨床心理士)
- 12月16日(火) 我が子の「人間教育」 ～講座を振り返って・総括～ (閉級式)
島袋 恒男教授(琉球大学教育学部子ども地域教育コース・教育発達心理学)



那覇市中央公民館家庭教育学級の様子①
H26. 12. 2 (火) 於: 中央公民館

第3回の講座では、本市小中一貫教育アドバイザーの池間生子先生(沖縄大学人文学部こども文化学科教授)が「児童生徒の学びに対してへの親の関わり方」というテーマで、本市の取り組む小中一貫教育等について説明を行いました。(16名参加)

池間先生からは「各発達段階の特徴をふまえて子どもに関わることが家庭でも学校でも大切である」との講話があり、家庭教育や学校教育の充実に対し、大きな示唆を与えていただきました。

説明後、「本市の児童生徒の現状」「生徒指導上の小中学校の連携」等の質疑応答がなされ、充実した講座となりました。



那覇市中央公民館家庭教育学級の様子②
小中一貫教育の説明を行う池間生子アドバイザー

7 主な予定 (小中一貫教育関連)

〈12月〉

12月16日(火) 真和志南ブロック校長会

12月26日(金) 那覇市小中一貫教育フォーラム
(13:00 那覇市民会館大ホール)



〈1月〉 (2015年)

- 1月 8日(木) 小中連絡会・小中合同情報交換会
(神原中グループ)
- 1月 9日(金) 校長連絡協議会
- 1月13日(火) 本庁ブロック校長会
- 1月15日(木) 小中連絡会(古蔵中グループ)
小中連絡会(上山中グループ)
- 1月16日(金) 神中登校日(壺屋・神原小)
小中連絡会(寄宮中グループ)
小中連絡会(石田中グループ)
- 1月21日(水) 真和志南ブロック校長会



ツワブキ(キク科)
H26. 12. 10(水) 那覇市役所
部活動見学②(小禄中グループ)

〈2月〉

- 2月 3日(火) 本庁ブロック校長会
- 2月10日(火) 校長連絡協議会
- 2月12日(木) 中学校入学説明会(市内全中学校)
- 2月16日(月) 小中合同研修会(小禄中グループ)
教頭連絡会
- 2月17日(火) 真和志南ブロック校長会
- 2月20日(金) 小中合同研修会(神原中グループ)
部活動見学①(小禄中グループ)
- 2月25日(水) 県学力到達度調査(小学校)
- 2月26日(木) 小中合同情報交換会
(神原中学校グループ)

- 1月～2月にかけて次年度導入グループ(石田・寄宮・古蔵・仲井真・那覇・上山の各中学校小中一貫教育グループ)の保護者・地域説明会を開催いたします。(日程は、調整中です)
- 2月中に次年度導入準備ブロック(真和志北・首里ブロック)21校の小中一貫教育に係る訪問を予定しております。(1月に、各学校との日程調整を行う予定です)



2014年12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3						



2015年1月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31